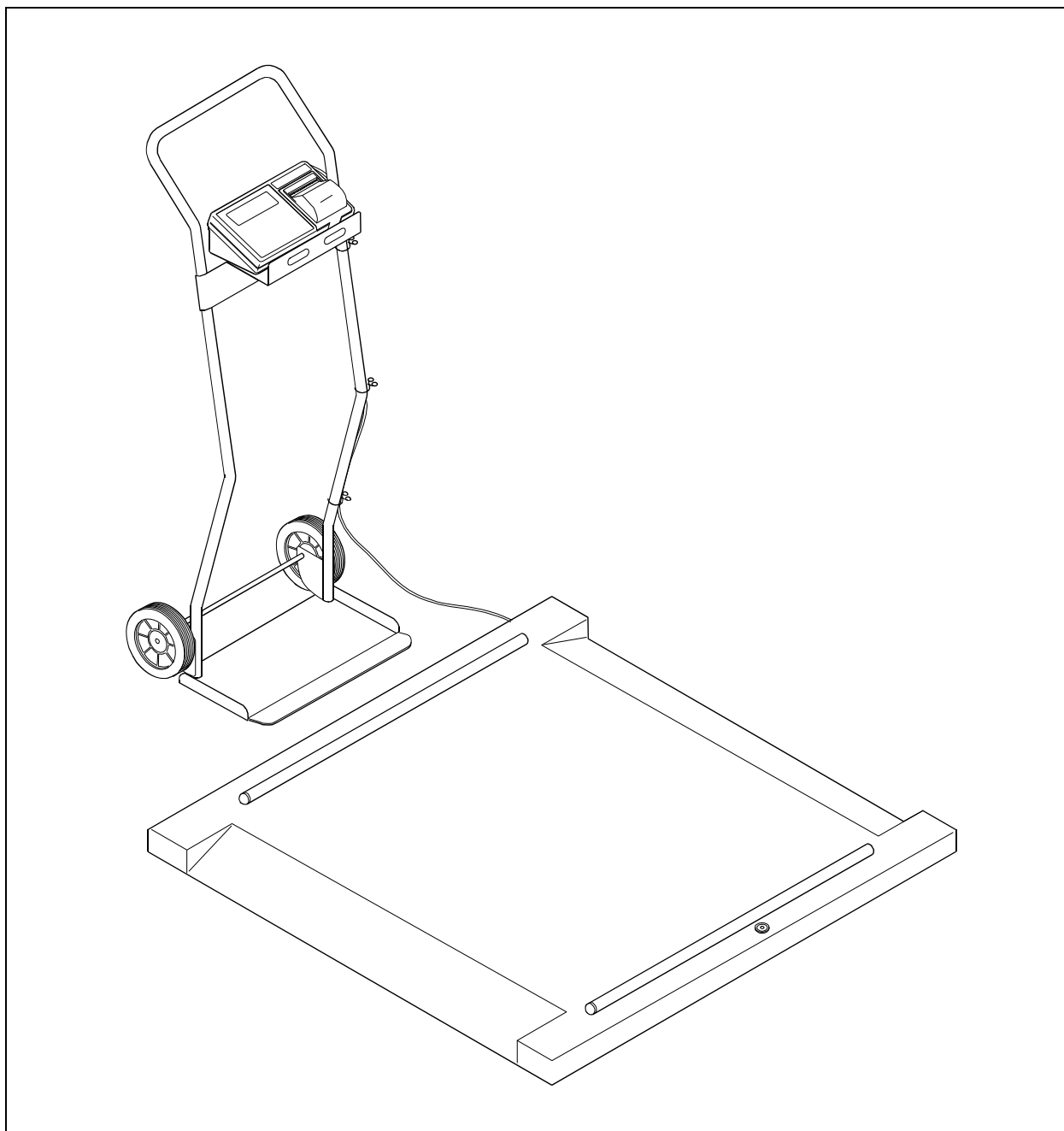
AD-6106N シリーズ

バリアフリースケール（車イス用）

取扱説明書

1WMPD4001888B 1406

ご注意

（１）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（２）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（３）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（４）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（３）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

■警告サインの意味

⚠危険	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

■図記号の例

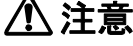
	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠ 記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

■その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

バリアフリースケール（ＡＤ－６１０６Ｎシリーズ）を正しく、安全にご使用いただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および被測定者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度＋５℃～＋３５℃、湿度８５％ＲＨ以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度－１０℃～＋６０℃の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	□ 製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 移動時は、転倒防止用ベルトで計量台を必ず固定してから動かしてください。ベルトで固定しない状態でスタンドを動かしたり移動したりすると、移動中に計量台が外れて手や足をはさむ恐れがあります。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。 故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因となります。
	■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

警告	
	■ 電源電圧は必ず交流１００Ｖでご使用ください。 火災や感電の原因になります。

注意	
	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用のＡＣアダプタを使用すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	■ 本器は人間の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源コードや他のケーブルの上に重い物を載せたり、本器の下敷きにしないこと。火災・感電の原因になります。 ■ ＡＣアダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

注意	
	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等、適切な措置を講ずること。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。 ■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。故障の原因になります。 ■ スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。 ■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。けがや故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、ＡＣアダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器のＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>

■ 本器は、ＪＩＳ Ｃ６１０００－４－３（電磁両立性）に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。
■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用
電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。
本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。
□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
□ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。

■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合
□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。
□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
□ 他の電源コンセントから電源を取る。

■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）
□ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。
□ 部屋を加湿する。

■ 落雷等による影響
近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。
このような場合は次の方法で機器を動作させてください。
□ 無停電電源装置（ＪＩＳ Ｔ０６０１－１に適合している機種）を使用する。

</td></tr>
</table>

8. 環境保護

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>

■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。
■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。
可燃物として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

</td></tr>
</table>

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。

測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。測定中に車イスが移動しけがをする恐れがあります。
■ 表示器やケーブルでつまずかないよう、設置場所に注意してください。
■ 本器には角や段差があります。転倒したりぶつけてけがをしないよう注意してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>■ スタンドの上に登ったり、ぶら下がったりしないでください。
転倒する恐れがあります。
■ 計量台の端に乗らないでください。
転倒する恐れがあります。
■ 計量台に飛び乗らないでください。
けがや転倒する恐れがあります。
■ スタンドに寄りかからないでください。
転倒する恐れがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>■ プリンタカバーやプリンタ駆動部に、手や髪の毛をはさまないように注意してください。
■ 移動時に、計量台やキャスタに足をはさまないように注意してください。</td></tr>
</table>

お知らせ
■ 計量台の中央部にお乗りください。 ■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

⚠注意

■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または当社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

□本体.. １セット
・計量台 １台
・表示器 １台
・スタンド.. １台 （AD-6106NL/NL-CR には付属しません。）

□付属品
取扱説明書（本書） １冊
専用ＡＣアダプタ １個
（AX-TB162：AC100V, 50-60Hz, 10VA）
ＡＣアダプタ識別シール ２枚
転倒防止用ベルト １本
プラスドライバ... １本
付属ネジ Ｍ４ .... ２個
パースロック ３個
（転倒防止用ベルト～パースロック：AD-6106NL/NL-CR には付属しません。）
プリンタ用紙 ２個

本体

付属品

目次

1.　はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのバリアフリースケール（ＡＤ－６１０６Ｎシリーズ）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、ＡＤ－６１０６Ｎシリーズの操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。
本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2.　特長

ＡＤ－６１０６Ｎシリーズは、車イスのままでも計量できるバリアフリー対応の体重計です。

■ バリアフリー仕様
計量台が床面から約４３ｍｍと非常に低く、車イスでも段差を感じずに乗り降りが楽に行えます。
フラットでガタツキのない広い計量台で、車イスのままでも楽に乗れる広さです。

■ 体重測定
ロードセルを４本使用することで、体重を正確に測定できます。

■ パワーオンゼロ機能
ON/OFF スイッチ、PT1 (風袋１)スイッチ、PT2 (風袋２)スイッチを押して測定が始まるときに、自動的に表示をゼロにします。

■ プリセット風袋機能
プリセット風袋機能が付いていますので、同じ着衣や車イスの質量を事前に入力しておくとワンボタンで測定できます。

■ 拡張端子
ＲＳ－２３２Ｃ端子を持ち、外部プリンタ等に接続可能です。

■ 印字機能（ＡＤ－６１０６ＮＰ／ＡＤ－６１０６ＮＢ）
内蔵プリンタにより、測定結果を印字することができます。

■ スタンド（ＡＤ－６１０６ＮＬ／ＮＬ－ＣＲ以外）
スタンドに計量台を立て掛けた状態で楽に移動ができます。

3.　検定付き計量器

ＡＤ－６１０６Ｎシリーズは、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。
検定付き計量器を使用するための事項が表示器側面の銘板に記載されています。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限
検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、表示器の銘板に記載されています。
※使用地域については、「13. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量、実目量
「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」、「実目量」は、表示器の銘板および表示部に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲
「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、表示器の銘板に記載されています。

■ 定期検査
本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第１１条により２年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問合せください。
定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。
※表示固定の解除については、「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、当社にお問合せください。
※定期点検については、「11.3. 定期点検」を参照してください。

■ 校正
検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4.　用語の解説

<table>
<tr><th>略語</th><th>解説</th></tr>
<tr><td>ひょう量</td><td>はかりが計量可能な最大の質量を表します。各機種のひょう量は以下の通りです。
<table>
<tr><th>型名</th><th>ひょう量（風袋量を含む）</th></tr>
<tr><td>AD-6106NL</td><td>150 kg</td></tr>
<tr><td>AD-6106NL-CR</td><td>150 kg</td></tr>
<tr><td>AD-6106NW</td><td>150 kg</td></tr>
<tr><td>AD-6106NP</td><td>150 kg</td></tr>
<tr><td>AD-6106NB</td><td>200 kg</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>目量</td><td>はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。
本器の目量は 100g であり、表示が 100g 単位で増減します。</td></tr>
<tr><td>実目量
（拡張表示）</td><td>目量より細かく表示できる目盛の量です。本器は、測定結果を表示固定中に▲スイッチを押している間のみ体重値を 20g 単位で拡張表示しますが、拡張表示された結果を「取引」または「証明」には使用できません。参考値としてお使いください。</td></tr>
<tr><td>風袋引き</td><td>風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。
風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです</td></tr>
<tr><td>正味量</td><td>総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。</td></tr>
<tr><td>プリセット風袋量</td><td>計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。</td></tr>
<tr><td>総量</td><td>風袋量またはプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。</td></tr>
</table>

5. 仕様

5.1. 構成

搭載機能 ＼ 型名	AD-6106NL AD-6106NL-CR	AD-6106NW	AD-6106NP	AD-6106NB
デジタルＬＣＤ表示	○	○	○	○
体重測定	○	○	○	○
風袋引き測定	○	○	○	○
プリセット風袋引き測定	○	○	○	○
通信機能	○	○	○	○
印字機能	×	×	○	○
スタンド	×	○	○	○

5.2. 本体仕様

項目	仕様			
型名	AD-6106NL AD-6106NL-CR	AD-6106NW	AD-6106NP	AD-6106NB
販売名	バリアフリースケール（車イス用）			
精度等級	3 級			
ひょう量	150 kg			200 kg
目量	100 g			
実目量	20 g			
最小測定量	2 kg			
最大減算風袋量	150 kg			200 kg
使用温湿度範囲	温度：+5℃～+35℃ 湿度：85%RH 以下（結露なきこと）			
保存温度範囲	温度：–10℃～+60℃			
表示	7 セグメント液晶表示 文字高 22 [mm]			
電源	・専用ＡＣアダプタ （AX-TB162：AC100V, 50-60Hz, 10VA） ・単３形アルカリ乾電池：６個（別売）（補助としてご使用ください）			
乾電池寿命	アルカリ乾電池使用時 連続動作３００回以上 ※			
計量台寸法	790 (W)×915 (D) [mm]			
計量スペース	690 (W)×700 (D) [mm]			
適用車イスサイズ	車輪外幅 ： 700 [mm] 以下 ホイールベース： 560 [mm] 以下			
本体質量	約 25 kg （ＡＣアダプタ、乾電池含まず）	計量台 約 25 kg スタンド 約 6 kg （ＡＣアダプタ、乾電池含まず）		
耐用期間	設置後５年 当社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）			

※ 乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

5.3. 外形寸法

□ 本体

計量台

スタンド

300

915

790

690

655

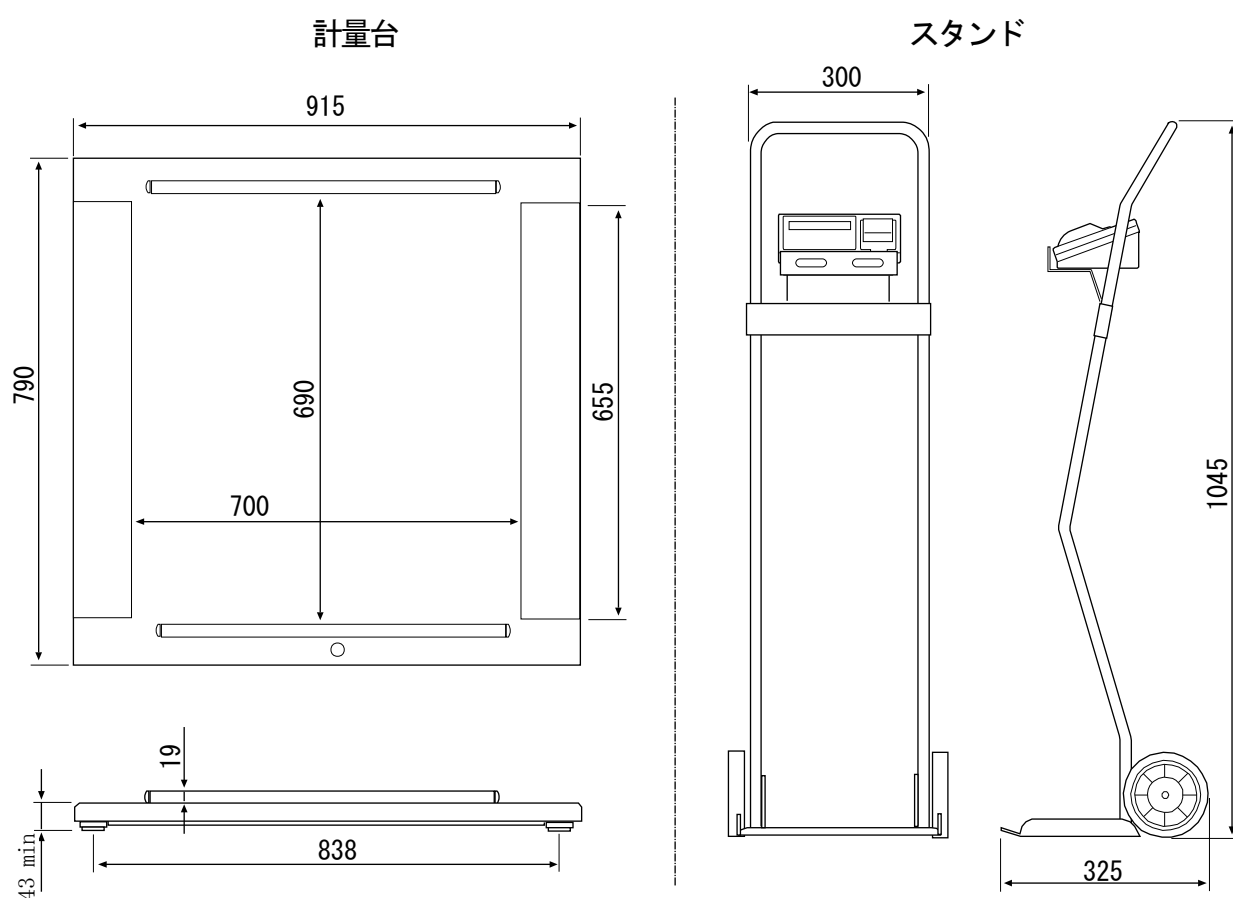
700

1045

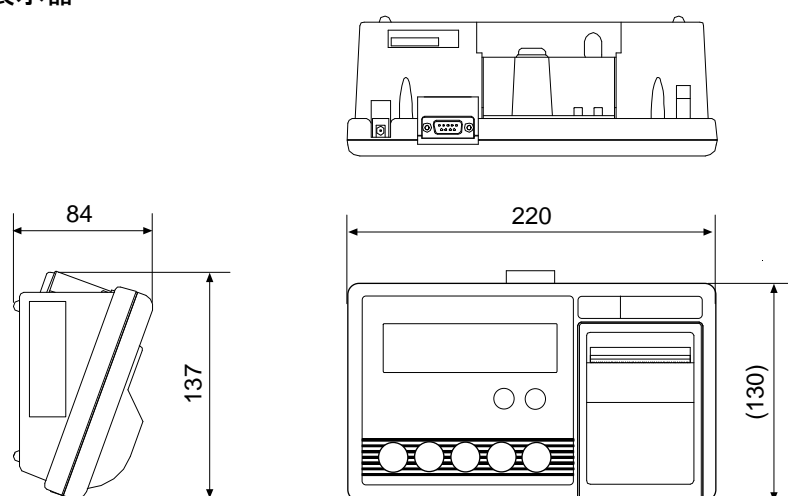
19

43 min

838

325

AD-6106NL/NL-CR にスタンドはありません

単位 : mm

□ 表示器

この図は、AD-6106NP/NB の表示器です。

単位 : mm

6. 各部の名称と機能

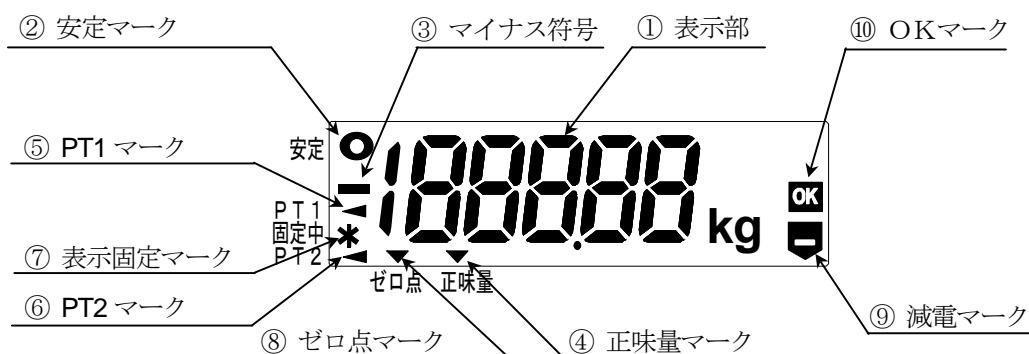
6.1. 各部の名称

6.2. スイッチ機能

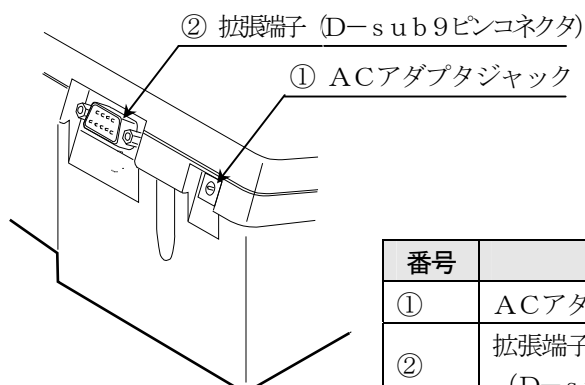
番号	名称	機能
①	(ON/OFF)スイッチ	・測定をＯＮまたはＯＦＦするスイッチです。※2
②	(ゼロ)スイッチ	・表示をゼロにするスイッチです。（ゼロ機能）※3 ・約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以下のとき、風袋量、プリセット風袋量はクリアされ、表示がゼロになります。 ・約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以上の場合、スイッチを押したときの総量を風袋量とし、風袋引き測定になります。 ※プリセット風袋引き測定の場合、約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以上での (ゼロ)スイッチは無視されます。
③	(PT1)スイッチ	・プリセット風袋（風袋１）引き測定をＯＮするスイッチです。※3 ゼロをとってから、プリセット風袋引き測定します。 ・スイッチを長押しした場合は、プリセット風袋（風袋１）量を設定します。 ※約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以上では (ゼロ)スイッチは無視されます。
④	(PT2)スイッチ	・プリセット風袋（風袋２）引き測定をＯＮするスイッチです。※3 ゼロをとってから、プリセット風袋引き測定します。 ・スイッチを長押しした場合は、プリセット風袋（風袋２）量を設定します。 ※約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以上では (ゼロ)スイッチは無視されます。
⑤	(▲)スイッチ 20g	・表示固定中、このスイッチを押している間のみ体重値を実目量（拡張 20g）表示にします。 ・各種設定モード時に数値を変更するスイッチです。(時計設定)スイッチを押しながら (▲)スイッチを押した場合数値減少、それ以外の場合は数値増加します。
⑥	(時計設定)スイッチ	・日付・時刻を設定するスイッチです。
⑦	(印字紙送り)スイッチ ※1	・プリンタ用紙を紙送りします（測定ＯＦＦ時）。 ・日付と時刻と測定値を印字します。 （オートプリントの設定時は、スイッチを押しても印字しません。）※4

※1　ＡＤ－６１０６ＮＰ／ＡＤ－６１０６ＮＢのみ
※2　本器は、オートパワーオフ機能がついています。この機能は測定ＯＮ後、約５分間以上何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が続くと自動的に測定ＯＦＦとなります。このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクション設定にて動作設定することができます。詳しくは「9.5. ファンクション設定」を参照してください。
※3　ゼロ機能とは、ゼロを押すと、約±3kg（AD-6106NB は±4kg）以内はゼロとする機能です（ゼロ点マークが点灯します）。約 3kg（AD-6106NB は 4kg）以上になると風袋引き（正味量マークとゼロ点マークが点灯）になります
※4　オートプリントの設定については、「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

6.3.　表示部の説明

□ 画面

番号	名称	説明
①	表示部	体重値を表示します。
②	安定マーク	体重値が安定しているときに点灯します。
③	マイナス符号	ゼロ点をとった重さより軽いときに表示します。 プリセット風袋量を表示するときに表示します。
④	正味量マーク	風袋引き測定、プリセット風袋引き測定中に点灯します。
⑤	PT1 マーク	プリセット風袋（風袋１）引き測定中に点灯します。 プリセット風袋（風袋１）設定中に点滅します。
⑥	PT2 マーク	プリセット風袋（風袋２）引き測定中に点灯します。 プリセット風袋（風袋２）設定中に点滅します。
⑦	表示固定マーク	体重表示を固定しているときに点灯します。
⑧	ゼロ点マーク	ゼロ点は、はかりの基準点です。 計量台になにも載せずに、ゼロ スイッチを押し、計量値がゼロ（ゼロ点）のとき表示します。 風袋引き、プリセット風袋引き測定のときの、ゼロ表示しているときも点灯します。
⑨	減電マーク	乾電池消耗時に点灯します。　※1
⑩	ＯＫマーク	印字可能時に点灯します。　※2

※1　ＡＤ－６１０６ＮＰ／ＡＤ－６１０６ＮＢでは、減電マークが点灯すると印字できません。
※2　ＡＤ－６１０６ＮＬ／ＡＤ－６１０６ＮＬ－ＣＲ／ＡＤ－６１０６NWでは、ＯＫマークは点灯しません。
※　総量が-1.9kg 以下になった場合は、“-E” 表示になります。
（安定マークが点灯した場合、ゼロ スイッチを押して表示をゼロにすることができます。）
※　総量が 150.8kg（AD6106NB は 200.8 kg）を超えると表示範囲外（ひょう量超過）になり、“E” を表示します。

□ 表示器背面

番号	名称	説明
①	ＡＣアダプタジャック	専用のＡＣアダプタを接続します。
②	拡張端子 （Ｄ－ｓｕｂ９ピンコネクタ）	外部プリンタ等と通信ケーブルにより接続します。

7. ご使用の準備

7.1. 設置

⚠注意	
	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器重量に十分耐え得る場所に設置してください。 ■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。 ■ 表示器は、スタンド金具部に付属ネジＭ４でしっかりと締め付け固定してください。付属ネジＭ４が緩み表示器が落下して故障の原因となります。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

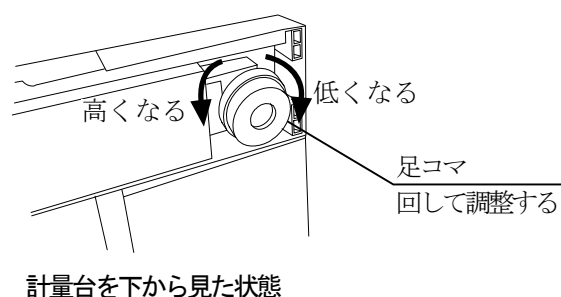
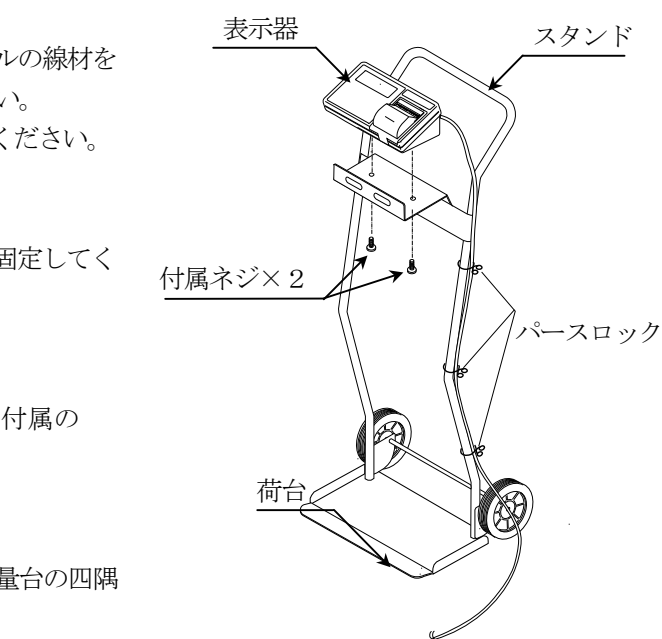
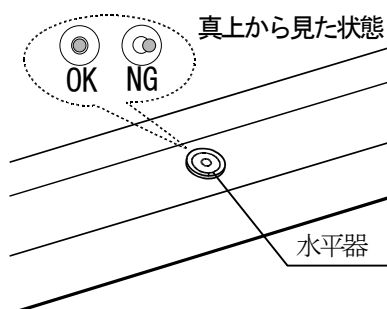
ＡＤ－６１０６ＮＬ／ＮＬ－ＣＲにはスタンドはありません。手順4 から行ってください。

1. 梱包箱から本器を取り出します。
   このとき、表示器と計量台を接続しているケーブルの線材を引っ張ったり、傷つけないように注意してください。
   移動する場合は、「8. 移動方法」の手順に従ってください。

2. 右図のようにスタンドに表示器を付属ネジＭ４で固定してください（２箇所）。

3. ケーブルをスタンドのポール部分に沿うように付属のパースロック（３個）で固定してください。

4. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。
   計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。

計量台を下から見た状態

5. 設置完了です。

7.2. 電源の準備

7.2.1. ＡＣアダプタを使用する場合

警告

■ 電源電圧は交流１００Ｖでご使用ください。

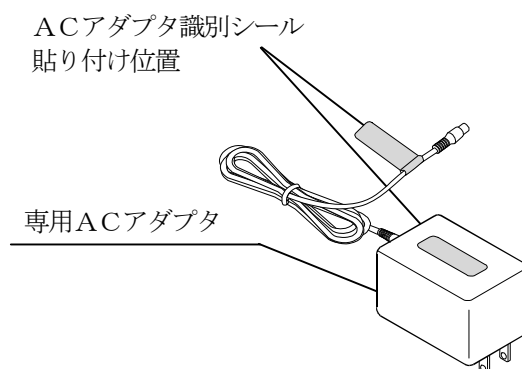
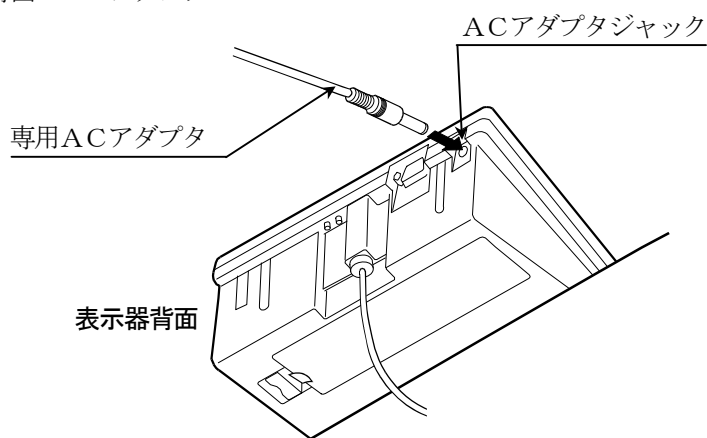
注意

■ ＡＣアダプタは、必ず当社製品指定の専用アダプタ品をご使用ください。
当社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。
（当社指定専用アダプタは、AX-TB162 です。）

お知らせ

■ＡＣアダプタの誤使用防止のため、付属のＡＣアダプタ識別シールを貼り付けてご使用ください。

手順：

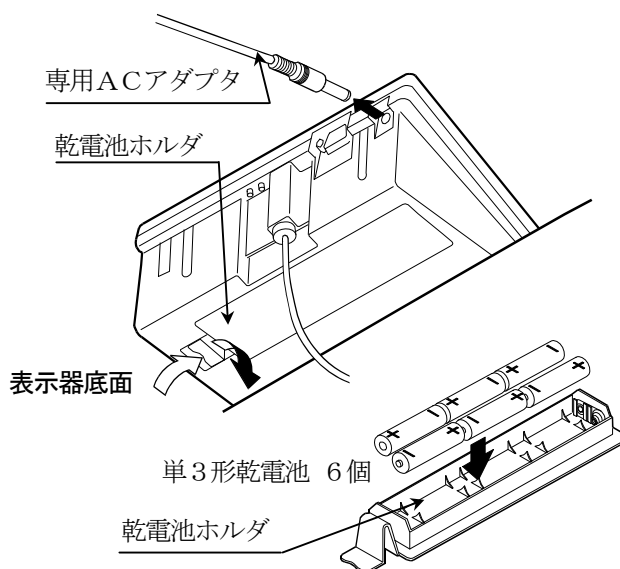
1. 付属のＡＣアダプタ識別シールを台紙より剥がして、ＡＣアダプタ本体およびコード部分に貼り付けてご使用ください（識別シールには、使用可能な当社製品の型名が記載されています。）

2. 専用ＡＣアダプタのケーブルを表示部背面のＡＣアダプタジャックに差し込んでください。

3. もう一方のプラグをコンセントに差し込んでください。
測定ＯＦＦの状態になります。

7.2.2.　乾電池を使用する場合

⚠注意

- 乾電池の＋－の方向を間違えないように入れてください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しない場合、あるいは専用ＡＣアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。
  乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。
  乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。
- 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

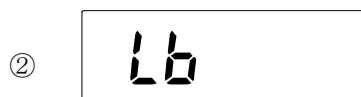
手順：

1. 表示器背面のＡＣアダプタのケーブルを外します。
2. 表示器底面の乾電池ホルダを外します。
3. ＋－の方向に注意して、同種の新しい単３形乾電池６個を入れます。
4. 乾電池ホルダをはめ込み、元の状態に戻します。
   測定ＯＦＦの状態になります。

・乾電池の交換時期について

乾電池使用時に、乾電池が消耗すると下図のようなローバッテリ表示（減電マークおよびＬｂマーク）が２段階で液晶表示部に表示されます。直ちに使用を中断して新しい乾電池に全て交換してください。

① 減電マーク

体重測定はできますが印字はできません。（印字は AD-6106NP/AD-6106NB のみ）

②

体重測定、および印字ができません。

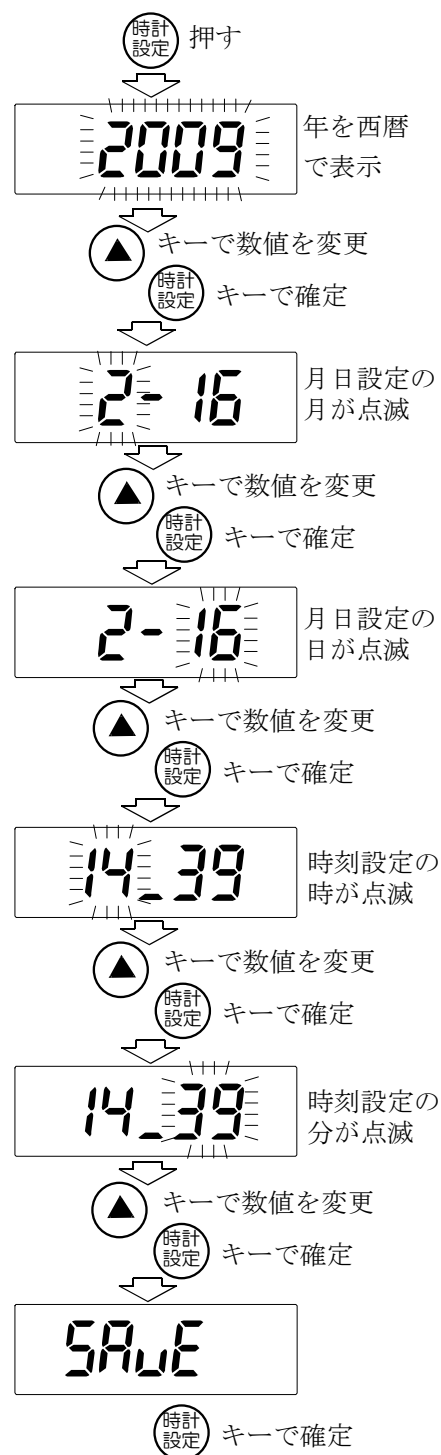
お知らせ

- 乾電池駆動は、補助的に緊急時などに限りご使用ください。
- ローバッテリ表示（減電マークおよびＬｂマーク）となったら、同種の新しい単３形乾電池６個に交換してください。
  ただし、乾電池が完全に消耗すると、ローバッテリ表示（減電マークおよびＬｂマーク）が表示されなくなります。
- 乾電池で動作させる場合は、ＡＣアダプタをＡＣアダプタジャックから外してください。
  表示器のＡＣアダプタジャックにＡＣアダプタが差し込まれている場合、ＡＣアダプタを優先します。

7.3.　時計設定

初めて本器をお使いになるときは下記の方法で日付・時刻を設定してください。

手順：

1. 測定ＯＦＦのときに 時計設定 スイッチを押してください。
2. 「年（西暦）」の表示が点滅します。時刻設定モードに入りました。
3. 値の変更は ▲ スイッチで行います。▲ スイッチを押すと数値が１ずつ増加します。
4. 「年」の設定時に 時計設定 スイッチを押すと、「年」を確定し月日設定表示に変わり「月」が点滅します。
5. ▲ スイッチを押して「月」を合わせてください。
6. 「月」の設定時に 時計設定 スイッチを押すと、「月」を確定し「日」が点滅します。
7. ▲ スイッチを押して「日」を合わせてください。
8. 「日」の設定時に 時計設定 スイッチを押すと、「日」を確定し時刻設定表示に変わり「時」が点滅します。
9. ▲ スイッチを押して「時」を合わせてください。
10. 「時」の設定時に 時計設定 スイッチを押すと、「時」を確定し「分」が点滅します。
11. ▲ スイッチを押して「分」を合わせてください。
12. 「分」の設定時に 時計設定 スイッチを押すと、「分」を確定し "SAvE" が表示された状態で 時計設定 スイッチを押すと、変更した日付・時刻データ（年～分）が設定されます。
このとき、時計は０秒よりスタートします。
13. 時計設定は終了です。

お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、２００９～２０９９年です。
- 本器の時計は、２４時間制です（閏年対応）。
- 時刻設定中に ON/OFF スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。
- ＡＤ－６１０６ＮＰ／ＡＤ－６１０６ＮＢでは、測定結果とともに日付・時刻データを印字します。

7.4. プリンタ用紙セット（AD-6106NP/AD-6106NB）

手順：

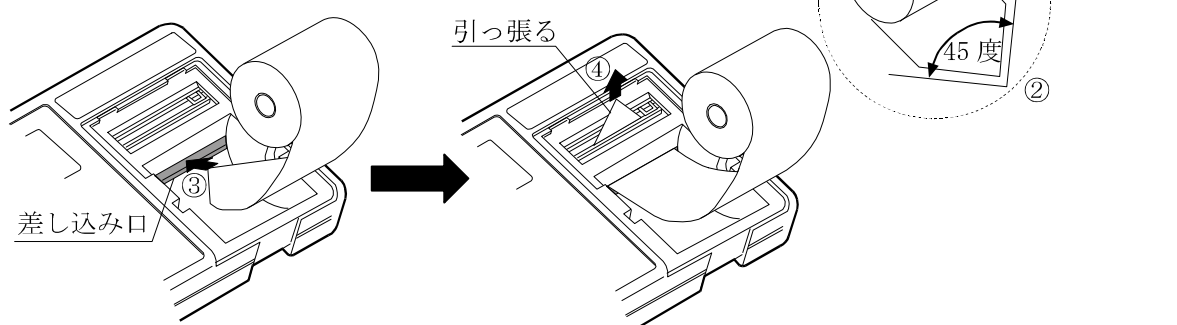
表示器
ペーパカバー
①
プリンタ
用紙
45 度
②

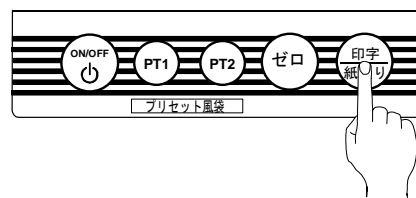
1. プリンタ用紙をセットする前に、電源の準備ができているか確認してください。「7.2. 電源の準備」参照

2. ON/OFF スイッチで測定ＯＦＦの状態にします。

3. 表示部のペーパカバーを外します。(①)

4. プリンタ用紙の先端を右図のように切ります。(②)

5. 先端を所定の位置に差し込みます。(③)

6. 先端がプリンタから出てきたら、ゆっくり、引っ張ってください。(④)

7. 先程切ったプリンタ用紙の先端部分が全部見えたら 印字/紙送り スイッチを押して、正常に紙送りすることを確認してください。正常に紙送りしない場合は、もう一度手順1～7 をやり直してください。

8. ペーパカバーにプリンタ用紙を差し込み、固定して終了です。

⚠注意

■ プリンタ用紙は当社純正品（ＡＸ－ＰＰ１４７－Ｓ）をご使用ください。
指定品以外の使用は、紙詰まりや故障の原因となります。

お知らせ

■ プリンタ用紙の装着方法を間違えると、印字されません。

■ プリンタ用紙は残り６０ｃｍになると両端に赤い線が出てきますので指定のプリンタ用紙と交換してください。

■ プリンタ用紙は感熱ペーパを使用しています。変色したり、印字が退色したりしますので注意してください。

□変色させる物の例：糊、有機溶剤を含むサインペン、接着剤

□退色させる物の例：蛍光ペン、テープ、保存するときの透明ケース、下敷き、日光、紫外線

上記の理由により、測定結果を保存する場合はコピーを取って保存してください。

7.5.　始業前点検

⚠注意	
	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.5.1.　電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 落下等による変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	■ 計量台、スタンドのガタつき、固定異常はないか ■ 足コマは４箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか ■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
スタンド （AD-6106NL/NR-CR を除く）	■ 表示器の取り付けガタ、固定ネジ緩みはないか ■ キャスタ部分にガタつき、固定異常はないか
接続ケーブル	■ ＡＣアダプタや接続ケーブルの上に重い物、車イス、本体等が載っていないか ■ ＡＣアダプタや接続ケーブルは傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか
プリンタ（AD-6106NP/NB）	■ プリンタ用紙が装着されているか

7.5.2.　電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

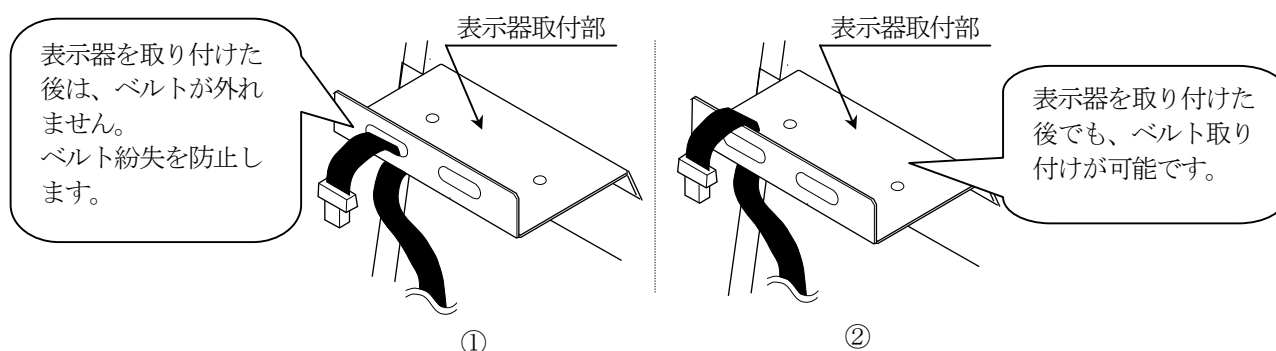
項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、測定値および測定動作に異常はないか
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 正常に通信可能か　データに異常はないか
スイッチ	■ スイッチの動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか
プリンタ（AD-6106NP/NB）	■ 正常に印字が可能か

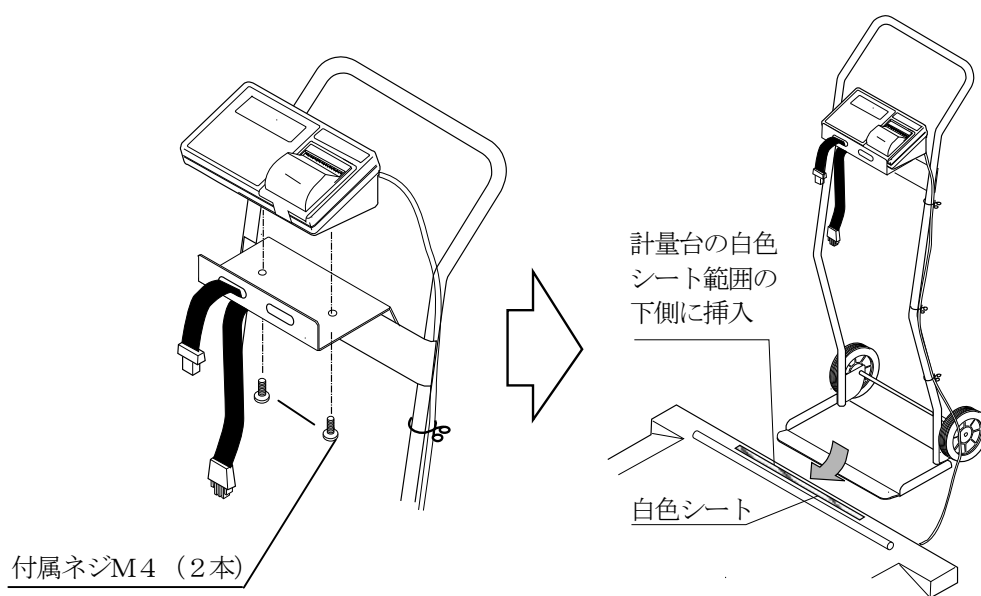
上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書を参照の上、修正を行ってください。

8.　移動方法

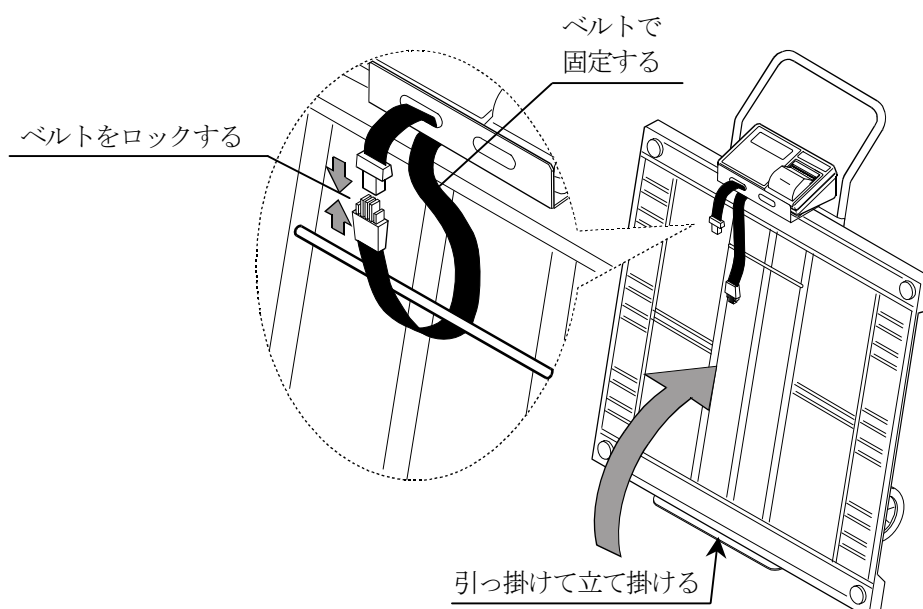
⚠注意	
	■ 本器のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 本器は小さな隙間や、鋭利な箇所があります。けがをしないように注意してください。 ■ 移動時にケーブル類をキャスタにはさまないよう注意してください。
	■ 移動時は手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

1. 転倒防止用ベルトを表示器取付部に通します。(下記①または②)

2. 表示器を付属ネジM４（２本）で固定してください

3. スタンドを計量台の白色シート範囲に挿入し、計量台をスタンドに立て掛けてください。

⚠注意	
	■ 計量台を立て掛ける際に、ケーブルをはさみ込まないよう十分注意してください。 ケーブルが断線する恐れがあります。

4. 転倒防止用ベルトを計量台に通して固定しロックしてください。

⚠注意	
	■ 移動時は、転倒防止用ベルトで計量台を必ず固定してから動かしてください。。 ベルトで固定しない状態でスタンドを動かしたり移動したりすると、移動中に計量台が外れて手や足をはさむ恐れがあります。

5. スタンドを持ち、移動してください。

⚠注意	
	■ 計量台が振動しないように、ゆっくり移動してください。転倒防止用ベルトは計量台が転倒するのを防止するためのものです。 ■ 移動時は壁や物等にぶつけないように注意してください。 ■ 移動時は段差などでの衝撃、衝突を避けてください。 故障の原因になります。

6. 設置場所に着いたら、静かに降ろしてください。

⚠注意	
	■ 乱暴に取り扱わないでください。 故障の原因になります。

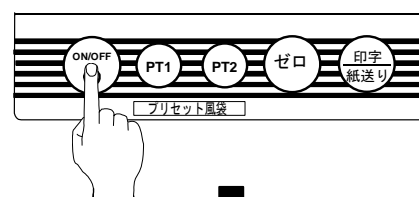
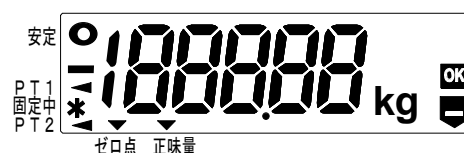
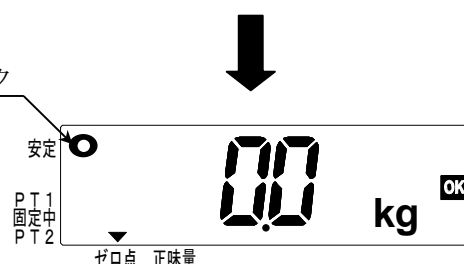
9. 操作方法

⚠注意	
	■ 本器には角や段差があります。計量台の端に乗ったり、つまずき、けがをしないように注意してください。

9.1. 測定

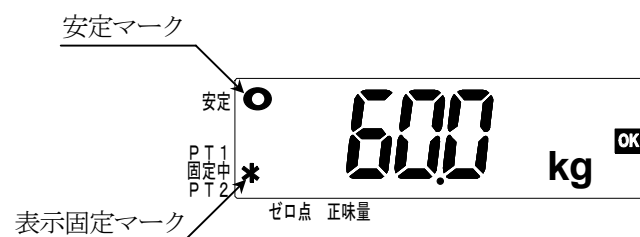
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
   「7.2. 電源の準備」参照

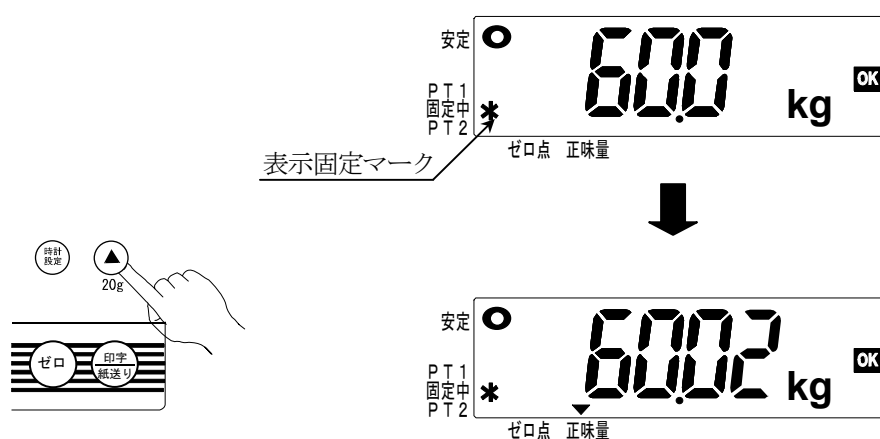
2. ON/OFF スイッチを押して測定ＯＮにします。

3. 全点灯表示後、“0.0 kg”表示となり、安定マークとゼロ点マークが点灯します。
   “0.0 kg” 表示になっていない場合は、ゼロ スイッチを押してください。

   計量台に物が載った状態で電源を入れると、全点灯表示後“－－－－－”表示になります。
   計量台の物を降ろしてください。

お知らせ
■ 何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約５分間続くと、自動的に測定ＯＦＦになります。「9.5. ファンクション設定」参照

4. 計量台の中央部に静かに乗ります。

⚠注意	
	■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。測定中に車イスが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。
	■ 計量台に乗るときには、車イスと手すりの間に手や足をはさまないように注意してください。

5.　体重が安定すると安定マークと表示固定マークが点灯し、体重値が表示固定されます。

お知らせ
■ 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。 体重値が 2 kg 以上の場合に適用されます。「9.5. ファンクション設定」参照 ■ 総量が 150.8 kg（AD-6106NB は 200.8 kg）を超えると表示範囲外になり、“E” を表示します。

6.　表示固定マークが点灯しているとき、▲ スイッチを押している間のみ体重値を実目量（拡張 20g）表示します。

お知らせ
■ 取引または証明における計量に使用する場合は、最小表示 100g の状態でご使用ください。 20g の桁は実目量（拡張）であり、取引または証明における計量には使用できません。

7.　測定が終了したら計量台から静かに降ります。
測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定ＯＦＦにします。

9.2. 風袋引き測定

風袋引き機能を使用することで、総量から車イスや着衣などの質量を差し引いた正味量を測定することができます。

風袋の範囲は 150.0 kg（AD-6106NB は 200.0 kg）までです。

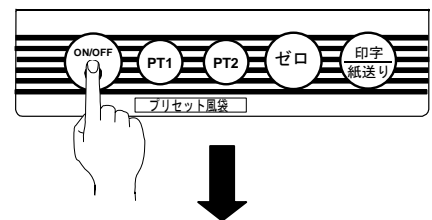
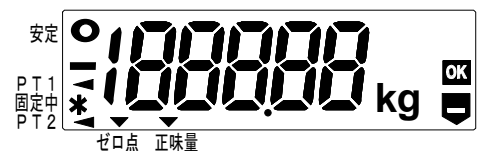
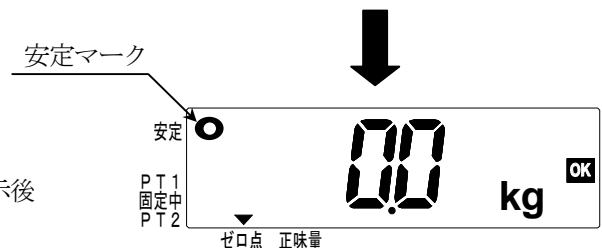
正味量＝総量－風袋量

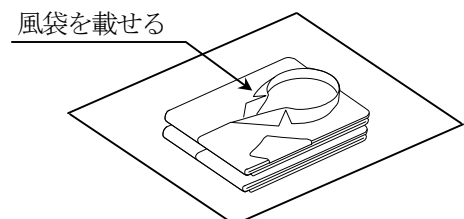
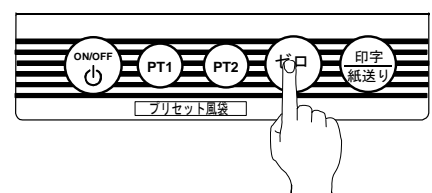
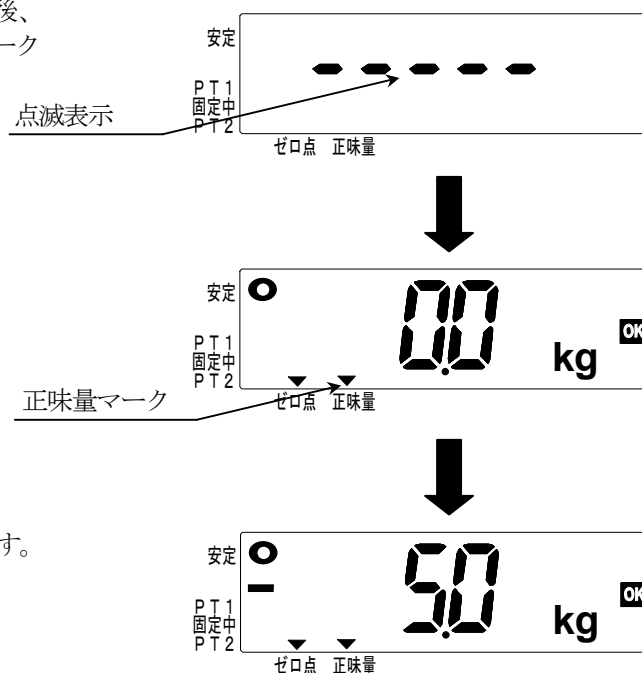
風袋の例：「車イス」、「着衣」、「皿」、「器」などがあります。

以下の手順で実際に着衣などの質量を測定し、その測定値を風袋量として使用します。

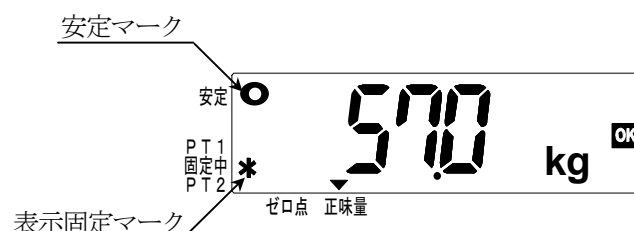
手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
   「7.2. 電源の準備」参照

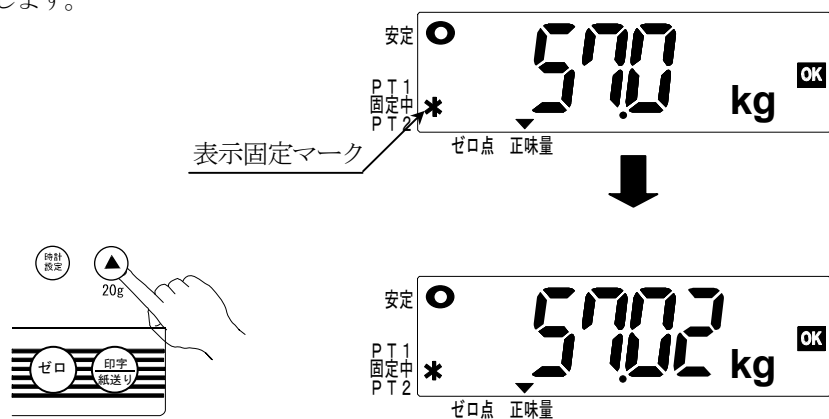
2. ON/OFF スイッチを押して測定ＯＮにします。

3. 全点灯表示後、“0.0 kg” 表示となり、安定マークとゼロ点マークが点灯します。
   “0.0 kg” 表示となっていない場合は、ゼロ スイッチを押してください。

   計量台に物が載った状態で電源を入れると、全点灯表示後“－－－－－”表示になります。
   計量台の物を降ろしてください。

お知らせ
■ 何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約５分間続くと、自動的に測定ＯＦＦになります。「9.5. ファンクション設定」参照

4. 計量台に静かに風袋を載せます。
   風袋の値が決まると、安定マークが点灯します。

5. ゼロ スイッチを押します。

約 3 kg（AD-6106NB は 4kg）以下は、“－－－－－” 点滅表示後、“0.0 kg” 表示となり、安定マークとゼロ点マークが点灯します。
約 3 kg（AD-6106NB は 4kg）を超える物を載せて ゼロ スイッチを押すと“－－－－－”点滅表示後、“0.0 kg” 表示となり、正味量マークと安定マークとゼロ点マークが点灯します。

6. 風袋を降ろします。風袋量がマイナス表示されます。
（図は風袋量が 5.0kg のときの表示です。）

注意	
	■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。測定中に車イスが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。
	■ 計量台に乗るときには、車イスと計量台間で手や足をはさまないように注意してください。

7. 計量台の中央部に静かに乗ります。体重値が表示されます。
体重が安定すると安定マークと表示固定マークが点灯し、
体重値が表示固定されます。

お知らせ

- ■ 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。
体重値が 2 kg 以上の場合に適用されます。「9.5. ファンクション設定」参照
- ■ 総量が 150.8 kg（AD-6106NB は 200.8 kg）を超えると表示範囲外になり、“E” を表示します。
「総量＝正味量＋風袋量」となります。

8.　表示固定マーク点灯中、▲ スイッチを押している間のみ体重値を実目量（拡張 20g）表示します。

お知らせ
■ 取引または証明における計量に使用する場合は、最小表示 100g の状態でご使用ください。 20g の桁は実目量（拡張）表示であり、取引または証明における計量には使用できません。

9.　測定が終了したら計量台から静かに降ります。
測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定ＯＦＦにします。

9.3.　プリセット風袋引き測定

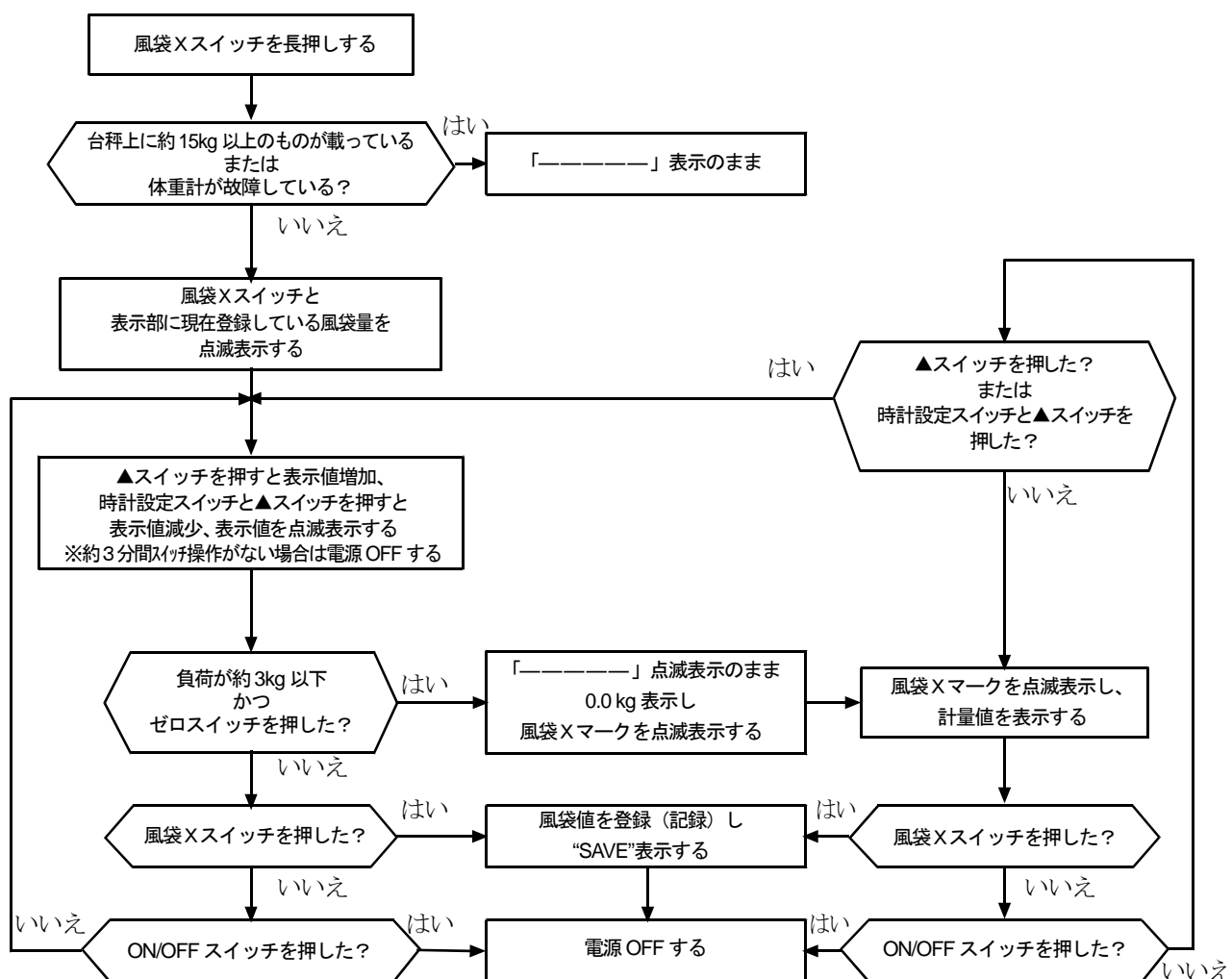
車イスや着衣などの質量を事前に登録しておくとワンボタンで正味量を測定することができ、毎回風袋量を設定する手間が省けます（プリセット風袋引き機能)。
本器では、２つのプリセット風袋（風袋１、風袋２）の登録を行うことができます。

プリセット風袋の範囲は 150.0 kg（AD-6106NB は 200.0 kg）までです。

正味量＝総量－プリセット風袋量

9.3.1.　プリセット風袋設定方法

□ プリセット風袋量設定の流れ

（図中のＸは、１または２を意味する）

以下の手順でプリセット風袋を設定します。

手順：

風袋１を設定する場合（ものを載せて設定する場合）

1. 設定を開始する前に電源の確認をしてください。
   「7.2. 電源の準備」参照

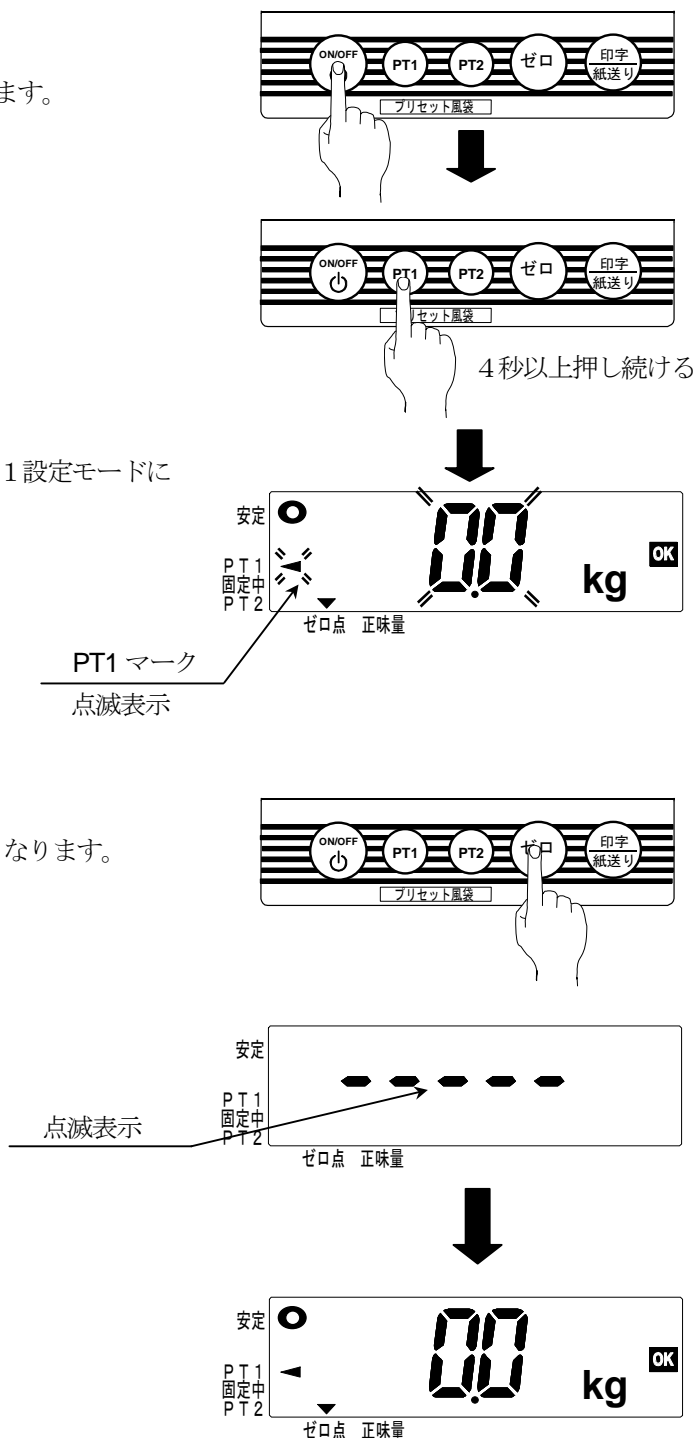
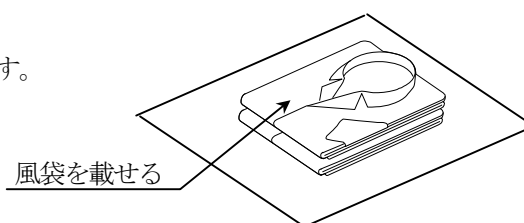
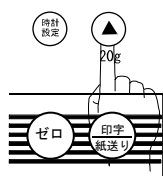
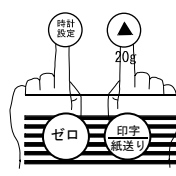
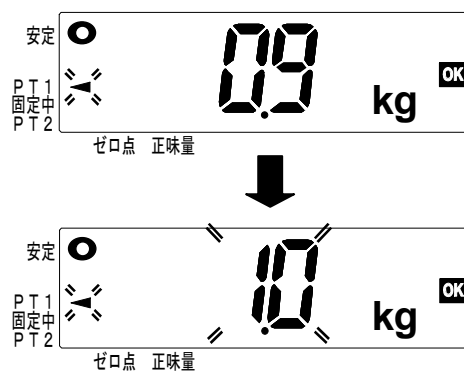
2. ON/OFF スイッチで測定ＯＦＦの状態にします。

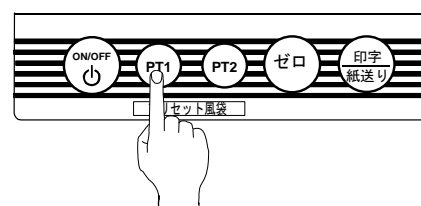
3. PT1 スイッチを約４秒以上押し続けます。

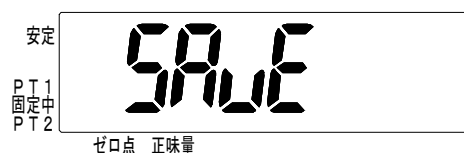
   風袋２を設定する場合
   PT2 スイッチを約４秒以上押し続けます。

4. PT1マークと表示部が点滅表示となると風袋１設定モードに入りました。

   風袋２を設定する場合
   PT2 マークと表示部が点滅表示となると風袋２設定モードに入りました。

5. ゼロ スイッチを押します。
   "－－－－－"点滅表示後、"0.0 kg"表示となります。

6.　計量台に静かに風袋を載せ、安定マークの点灯を待ちます。

風袋の数値を変更したい場合には、▲ スイッチを押すと
100g ずつ値を増加させることができます。
（ 時計設定 スイッチを押しながら ▲ スイッチを押すと
100g ずつ値を減少させることができます。）

100g ずつ増加させるとき　　100g ずつ減少させるとき

7.　設定が終了したら PT1 スイッチを押します。
風袋１を登録しました。

風袋２を設定する場合
設定が終了したら PT2 スイッチを押します。
風袋２を登録しました。

8.　“SAvE”表示後、測定ＯＦＦとなります。

※　風袋量が 150.0kg （AD-6106NB は 200.0 kg）を超える場合、“E”表示され、登録されません。

手順：

風袋１を設定する場合（数値入力のみで設定する場合）

1. 設定を開始する前に電源の確認をしてください。
   「7.2. 電源の準備」参照

2. ON/OFF スイッチで測定ＯＦＦの状態にします。

3. PT1 スイッチを約４秒以上押し続けます。

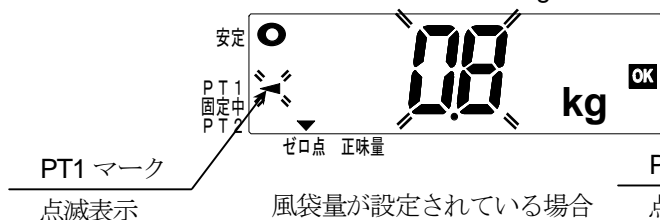
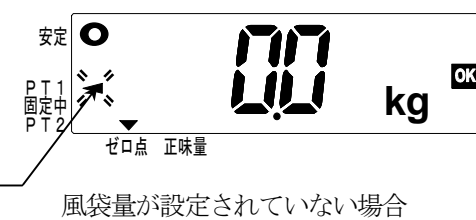
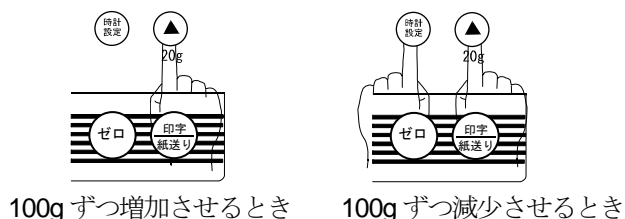
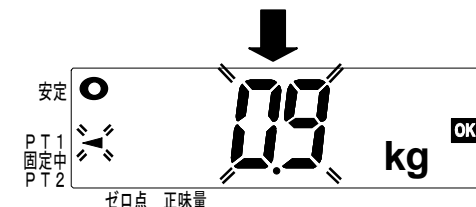
   風袋２を設定する場合
   PT2 スイッチを約４秒以上押し続けます。

4. PT1マークと表示部が点滅表示となると風袋１設定モードに入りました。

   風袋２を設定する場合
   PT2 マークと表示部が点滅表示となると風袋２設定モードに入りました。

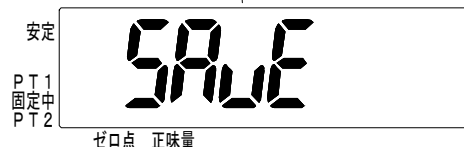
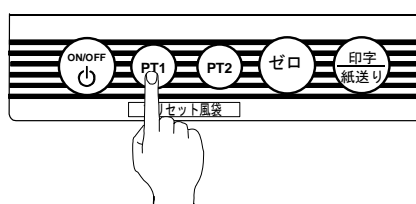
5. 風袋量が設定されているときは、風袋量を点滅表示します。
   風袋量が設定されていないときは、“0.0 kg” 表示となります。

風袋量が設定されている場合

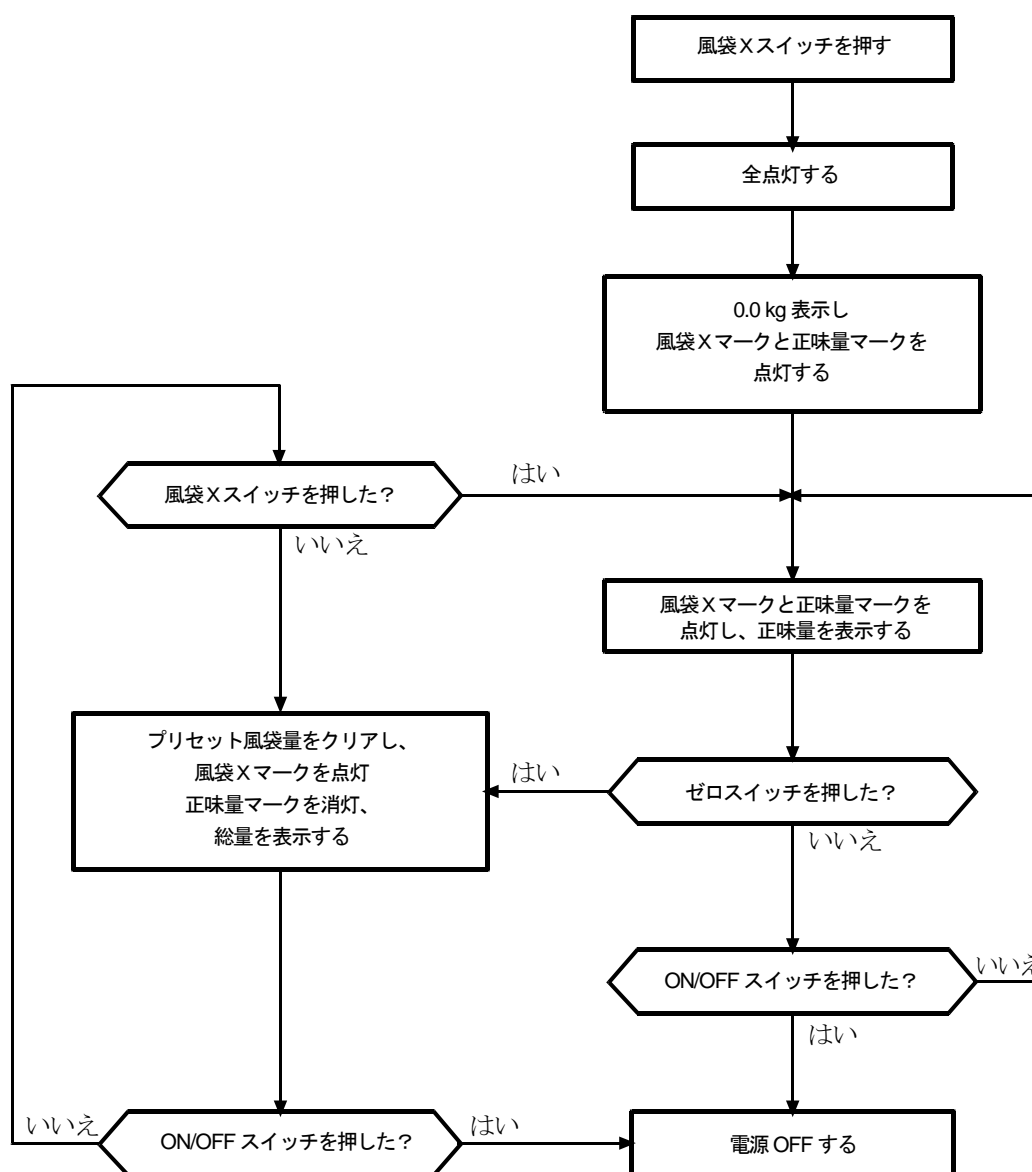
風袋量が設定されていない場合

6. ▲ スイッチを押し 100g ずつ値を増加させるか、時計設定 スイッチを押しながら ▲ スイッチを押し、100g ずつ値を減少させて数値を変更します。

100g ずつ増加させるとき

100g ずつ減少させるとき

7. 設定が終了したら PT1 スイッチを押します。
   風袋１を登録しました。

   風袋２を設定する場合
   設定が終了したら PT2 スイッチを押します。
   風袋２を登録しました。

8. “SAvE” 表示後、測定ＯＦＦとなります。

9.3.2.　プリセット風袋引き測定方法

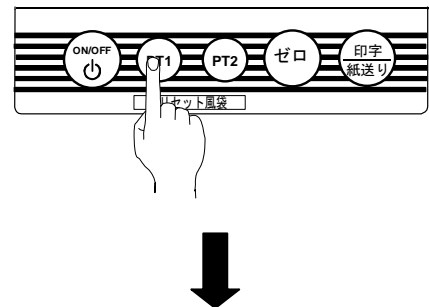
□ プリセット風袋引き測定の流れ

（図中のＸは、１または２を意味する）

※　ゼロスイッチを押すと、プリセット風袋量クリア（正味量マーク消灯、風袋Ｘマーク点灯）
風袋Ｘスイッチを押すと、プリセット風袋量読み出し（正味量マークと風袋Ｘマーク点灯）
ON/OFF スイッチを押すと、電源をＯＦＦします。

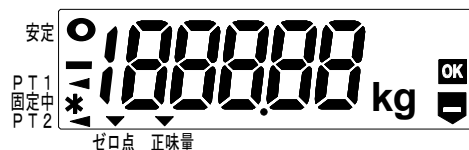
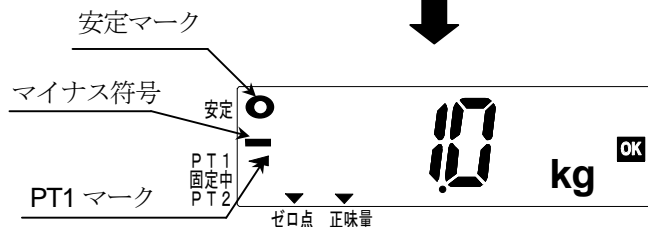
手順：

風袋１で測定をする場合

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
   「7.2. 電源の準備」参照

2. PT1 スイッチを押して測定ＯＮにします。

   風袋２で測定をする場合
   PT2 スイッチを押して測定ＯＮにします。

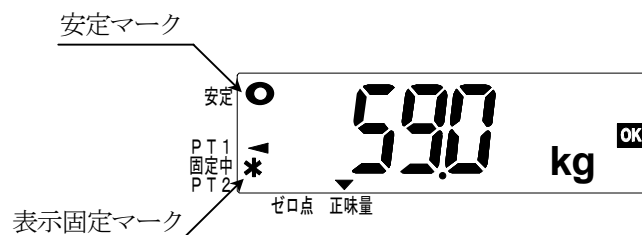
   パワーオンゼロしてから、プリセット風袋引き測定になります。

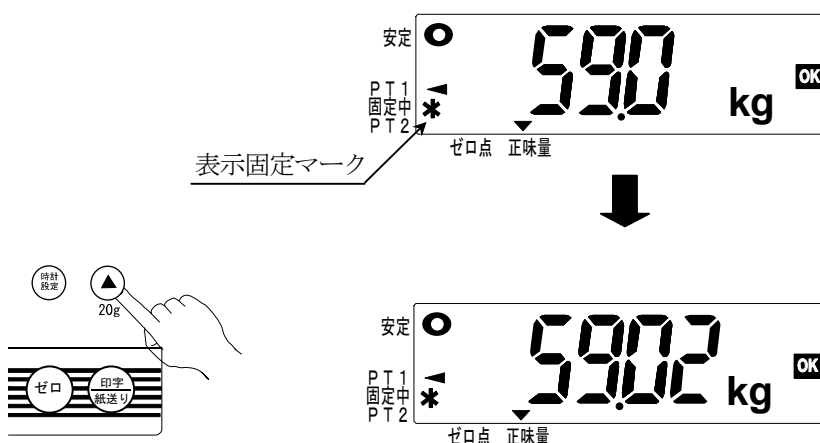
3. 全点灯表示後、登録したプリセット風袋量がマイナス値で表示されます。
   PT1 マーク、正味量マーク、安定マークとゼロ点マークが点灯します。

   風袋２で測定をする場合
   PT2 マーク、正味量マーク、安定マークとゼロ点マークが点灯します。

   計量台に物が載った状態で電源を入れると、全点灯表示後“－－－－－”表示になります。
   計量台の物を降ろしてください。

お知らせ
■ 何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約５分間続くと、自動的に測定ＯＦＦになります。「9.5. ファンクション設定」参照

4. 計量台の中央部に静かに乗ります。
   体重値が表示されます。

⚠注意	
	■ 車イス使用の際には、計量台に乗ったら必ず車イスのブレーキをかけて測定してください。測定中に車イスが移動し、けがをする恐れがあります。 ■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。
	■ 計量台に乗るときには、車イスと計量台間で手や足をはさまないように注意してください。

5. 体重が安定すると安定マークと表示固定マークが点灯し、
体重値が表示固定されます。

お知らせ
■ 表示固定は、体重値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。 体重値が 2 kg 以上の場合に適用されます。「9.5. ファンクション設定」参照 ■ 総量が 150.8 kg（AD-6106NB は 200.8 kg）を超えると表示範囲外になり、“E”を表示します。 「総量＝正味量＋プリセット風袋量」となります。

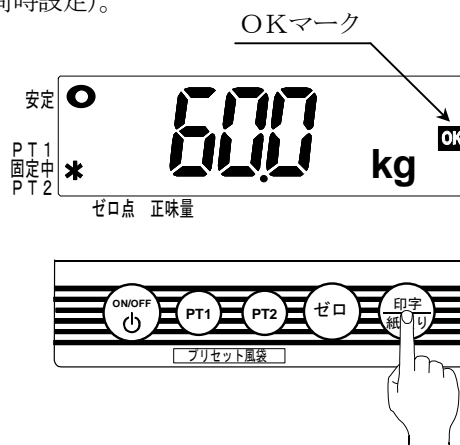
6. 表示固定マーク点灯中、▲ スイッチを押している間のみ体重値を実目量（拡張 20g）表示します。

お知らせ
■ 取引または証明における計量に使用する場合は、最小表示 100g の状態でご使用ください。 20g の桁は実目量（拡張）表示であり、取引または証明における計量には使用できません。

7. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。
測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定ＯＦＦにします。

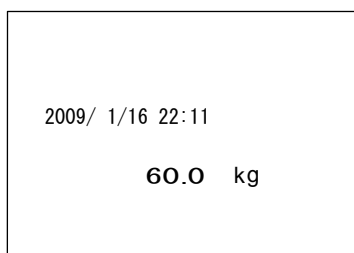
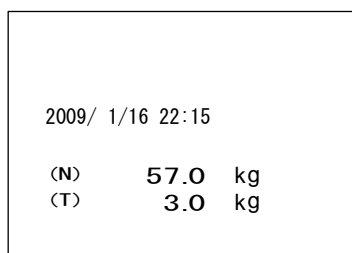
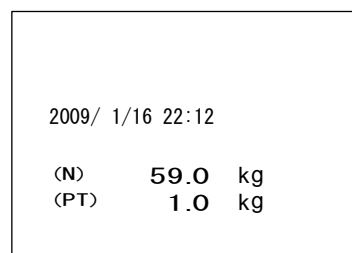
風袋２を設定する場合
測定しないときは、ON/OFF スイッチを押して測定ＯＦＦにします。

9.4.　印刷（AD-6106NP/AD-6106NB）

ＡＤ－６１０６ＮＰ／ＡＤ－６１０６ＮＢの場合、体重測定後ＯＫマークが点灯しているときに 印字/紙送り スイッチを押すと、体重値を日付・時刻とともに印字します（出荷時設定)。

ＯＫマーク

オートプリント設定の場合は、体重計に乗り体重値が安定したら自動的に印字されます。
詳細は「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

印字例

通常測定	風袋引き測定	プリセット風袋引き測定
2009/ 1/16 22:11 60.0　kg	2009/ 1/16 22:15 (N)　57.0　kg (T)　3.0　kg	2009/ 1/16 22:12 (N)　59.0　kg (PT)　1.0　kg

(N)　：正味量 Net
総量から風袋量を差し引いた正味の質量です。
表示してある体重値は風袋量を差し引いてあります。

(T)　：風袋量 Tare
実際に測定した着衣などの質量です。

(PT)　：プリセット風袋 Preset Tare
事前に把握している着衣などの質量を風袋設定した値です。

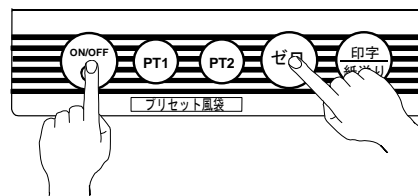
9.5. ファンクション設定

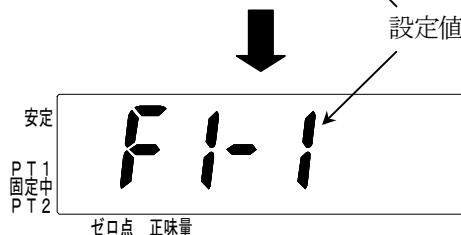
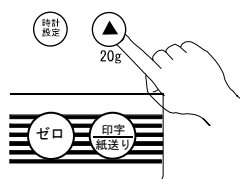
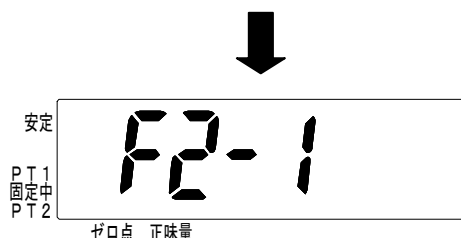
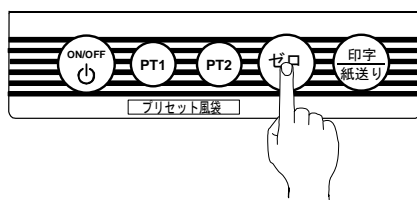
ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信、時刻表示、プリンタ設定ができます。各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

9.5.1. ファンクション設定方法

手順：

1. 測定ＯＦＦの状態にします。

2. ゼロ スイッチを先に押した状態で、ON/OFF スイッチを押します。

3. “F1-＊” と表示されます。

4. ▲ スイッチを押すと項目の設定値が変更されます。

5. ゼロ スイッチを押すと、１つ次の項目に移行します。

6. F1→F2→F3→F4→F5→F6→F7※ →FC※ →Fd までの設定を行います。
   設定方法は手順 4～5 の通りです。

   ※F7、FC は AD-6106NP / AD-6106NB の場合のみ表示されます。

7. ファンクション設定を終了するときは、ゼロ スイッチを押していき、“End” 表示となったら ON/OFF スイッチを押してください。

9.5.2. ファンクション一覧

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定値</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">オートパワーオフ</td><td>◆F1- 0</td><td colspan="2">オートパワーオフ機能を使用しない。</td></tr>
<tr><td>F1- 1</td><td colspan="2">オートパワーオフ機能を使用する。
何も操作しないで“0.0 kg”表示が約５分間続くと自動的に電源を切って、乾電池の消耗を防ぎます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">表示固定設定</td><td>F2- 0</td><td colspan="2">表示が安定しても表示固定しません。※</td></tr>
<tr><td>◆F2- 1</td><td colspan="2">表示が安定すると表示固定します。
±3kg 以上の変動または最小測定量の 1/2（1kg）以下にすると解除します。</td></tr>
<tr><td>F2- 2</td><td colspan="2">表示が安定すると表示固定します。
±3kg 以上の変動があっても約７秒間は表示固定し続けます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ブザー設定</td><td>F3- 0</td><td colspan="2">ブザーが鳴りません。</td></tr>
<tr><td>◆F3- 1</td><td colspan="2">ブザーを鳴らします（クリック音、測定終了音）。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">通信スタイル</td><td>◆F4- 0</td><td colspan="2">ストリームモード</td></tr>
<tr><td>F4- 1</td><td colspan="2">コマンドモード</td></tr>
<tr><td>F4- 2</td><td colspan="2">オート出力モード</td></tr>
<tr><td>F4- 3</td><td colspan="2">ＡＤプリンタユニット（AD-PR600）用出力モード（時刻、体重値、風袋値）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">通信速度</td><td>◆F5- 0</td><td colspan="2">2400 bps</td></tr>
<tr><td>F5- 1</td><td colspan="2">4800 bps</td></tr>
<tr><td>F5- 2</td><td colspan="2">9600 bps</td></tr>
<tr><td rowspan="2">時計表示</td><td>◆F6- 0</td><td colspan="2">測定ＯＦＦ時に何も表示しません。</td></tr>
<tr><td>F6- 1</td><td colspan="2">測定ＯＦＦ時に時計を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">印字動作</td><td>◆F7- 0</td><td colspan="2">[印字/紙送り] スイッチを押すと印字します。</td></tr>
<tr><td>F7- 1</td><td colspan="2">体重値が安定したら印字します（オートプリント）。 ※</td></tr>
<tr><td>F7- 2</td><td colspan="2">[印字/紙送り] スイッチを押しても印字しません。</td></tr>
<tr><td>改行数</td><td>◆FC- 0
～
FC-20</td><td colspan="2">印字の自動紙送り長さの設定ができます。
出荷時の設定は０です。数字を大きくすると長くなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">風袋通信設定</td><td rowspan="3">◆Fd- 0</td><td>ストリームモード</td><td>風袋量出力はしません。</td></tr>
<tr><td>コマンドモード</td><td rowspan="2">風袋引き測定またはプリセット風袋引き測定時に風袋量を出力します。</td></tr>
<tr><td>オート出力モード</td></tr>
<tr><td>Fd- 1</td><td colspan="2">ストリームモードで、風袋引き測定またはプリセット風袋引き測定時に風袋量を出力します。</td></tr>
</table>

◆は初期設定を表します。

F7、FC は AD-6106NP / AD-6106NB の場合のみ表示されます。

※ 「表示固定設定」で、[F2- 0] の設定を選択する場合は、「印字動作」設定を [F7- 1（オートプリント）] の設定で使用しないでください。表示が安定するたびに印字されます（連続して印字されることがあります）。

10. 通信機能（RS-232Cインタフェース）

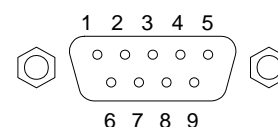
本器は、ＲＳ－２３２Ｃクロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、コマンドモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

□インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）	
信号形式	通信速度	2400, 4800, 9600 bps　選択可
	データビット長	7 ビット
	パリティ	1 ビット（Even）
	ストップビット	2 ビット
	使用コード	ASCII

□ピン接続

コネクタ：Ｄ－ｓｕｂ９ピン（オス）

ピン番号	信号	方向※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	
3	TXD	出力	
4	DTR	出力	
5	SG	–	
6	DSR	N.C.	
7	RTS	出力	７ピンと８ピンは内部で結線されています。
8	CTS	入力	
9	RI	N.C.	

通信ケーブルは市販のクロスケーブルをご使用ください。

□通信スタイル

通信スタイルは以下の３つがあります。
送信データは、目量（100g 単位）で送信されます。

1. **ストリームモード**
   体重値が表示しているのと同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約５回／秒です。

2. **コマンドモード**
   体重計とパーソナルコンピュータ等を接続し、コンピュータから体重計にコマンドを送って表示データを出力させたり、表示をゼロにしたりすることができます。

   以下のコマンドが用意されています。<CRLF>はターミネータを示します。

受信コマンド	機能	処理内容
Z<CRLF>	スイッチ	表示が安定しているときに表示をゼロにします。
T<CRLF>	スイッチ	表示が安定しているときに表示をゼロにします。
Q<CRLF>	データ出力	表示の安定、非安定に関わらず、表示データを１回出力します。

3. **オート出力モード**
   表示が固定されるとデータが１回だけ出力されます。

□データフォーマット

データフォーマットは、ストリームモード、コマンドモード、オート出力モードいずれも同じです。

安定時

非安定時

表示範囲外

風袋値が設定してある場合、上記データの後に風袋データが出力されます。

風袋の場合

プリセット風袋の場合

11. 保守

11.1. 保守点検と安全管理

本器などの機器は必要時にそれの有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。

本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。

当社では、１年に１回以上の定期点検をお奨め致します。

11.2. 清掃

⚠注意	
	■ 清掃を行う際は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
	■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（ＥＯＧ、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、１ヶ月に１回程度、以下のように行ってください。

・機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

・清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。

・血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

11.3. 定期点検

装置を正しくお使いいただくために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、当社にお問合せください。

11.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ 落下等による変形、破損がないこと ■ 各部の汚れ、キズがないこと ■ パネル類の割れやガタつきがないこと ■ 結露、水濡れしていないこと
操作部	■ スイッチの破損、ガタつきがないこと
表示部	■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないこと
測定部	■ 計量台のガタつき、固定異常がないこと ■ 足コマの外れ、破損がないこと
移動部 （AD-6106NL/NL-CR 以外）	■ キャスタ部の破損、変形、ガタつきがないこと ■ スタンドがサビ等で腐食していないこと ■ 表示器の取り付けガタ、固定ネジの緩みがないこと
プリンタ（AD-6106NP/NB）	■ プリンタ用紙が指定品であること
接続ケーブル	■ ＡＣアダプタや接続ケーブルの上に重い物、車イス、本体等が載っていないこと ■ ＡＣアダプタや接続ケーブルが破損していないこと ■ 本体のコネクタに確実に挿入されていること

11.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいがないこと ■ 異常な音がしないこと
操作部	■ スイッチの動作を確認し異常がないこと
表示部	■ 表示装置の、マーク、数字等の表示欠けがないこと
測定部	■ 実測し、測定動作を確認し異常がないこと
データ処理 （他 PC 等への接続の場合）	■ 測定値を表示確認し、異常がないこと
プリンタ（AD-6106NP/NB）	■ プリンタ用紙が装着してあるか、および残量を確認する ■ プリンタ用紙が正しく紙送りされること ■ テスト印刷による文字欠けを確認し、異常がないこと
電源部	■ 電源電圧を確認し異常がないこと

■機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
■点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

11.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ＡＢＳ樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	乾電池	単３形アルカリ乾電池

11.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。

これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社ＭＥ機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	・ＡＣアダプタは正しく接続されていますか？ ・乾電池が正しく入っていますか？ ・乾電池が消耗していませんか？
“－－－－－”を表示したまま変わらない。	・計量台の上に何か載っていませんか？ 電源投入時、ひょう量の10%以上の物が載せてあると表示されます。 ・ゼロ点がズレています。 ▲スイッチを押してください。 （修理依頼される際に当社ＭＥ機器相談センターに、このときの表示状態をお伝えください。）
荷重した重さと表示がズレている。	・計量台の下に物が入り込んでいませんか？ ・計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ ・水平に設置されていますか？
スイッチがきかない。 表示が変化しない。	・ＡＣアダプタまたは乾電池を抜いて、１度電源を完全に切って再度入れ直してください。
ゼロ スイッチが機能しない。	・電源投入時、計量台に何か載っていませんか？ 計量台の上の物を降ろしてください。
印字しない。	・プリンタ用紙が正しくセットされていますか？ プリンタ用紙の装着方法を間違えると印字されません。 ・当社指定のプリンタ用紙を使用していますか？ ・ファンクション設定で印字しない（F7- 2）に設定していませんか？

エラー	内容	対処法
E	範囲外エラー	・ひょう量より重い物を載せている可能性があります。 ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。 ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
-E	範囲外エラー	・総量が-1.9 kg 以下になった場合に出る表示です。 （約-3 kg（AD-6106NB は-4kg）以上で体重値が安定した場合、安定マークが点灯し、ゼロ スイッチを押して表示をゼロにすることができます。） ・重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。 計量台が何かに引っかかっていないか、計量台の下に物が入り込んでいないか確認してください。 ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。 ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。
E01	回路エラー	・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。 ケーブルの状態を確認後、電源を入れ直してください。 ・重量センサや内部回路が故障している可能性があります。 ・乾電池が消耗している可能性があります。
E02	メモリ不良	・ＡＣアダプタまたは乾電池を抜いて、１度電源を完全に切って再度入れ直してください。
E21	プリンタ不良	・プリンタ用紙が正常に入っているか確認後、電源を入れ直してください。
Lb	減電エラー	・乾電池が消耗している可能性があります。

※　エラー表示のときに ON/OFF スイッチを押すと測定ＯＦＦになります。

⚠警告	
	■　本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

12. アクセサリ・オプションリスト

品名	型名
プリンタ用紙（５巻入り）	AX-PP147-S
専用ＡＣアダプタ	AX-TB162
ＡＤプリンタユニット	AD-PR600

13. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
２箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、埼玉県の場合「9.796～9.801 m/s^2」または「9.794～9.799 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用地域（都道府県）
9.803～9.807 m/s^2	北海道
9.799～9.804 m/s^2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796～9.801 m/s^2	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.794～9.799 m/s^2	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789～9.794 m/s^2	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県

14. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

14.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体……………………………………………………………ご購入より１２ヶ月

14.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

14.3.製品に関するご質問・ご相談窓口

- 裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。